

Ka and Broadband Communications Conference and BroadSky Workshop 参加報告

情報通信研究機構 高山佳久
首都大学東京 福地 一



17th Ka and Broadband Communications, Navigation and Earth Observation Conference が2011年10月3日から5日にイタリア・パレルモで開催された。また、本会議と同時にNICTが主催する 9th BroadSky Workshopが“Large Platform Technologies for Upcoming Applications and Services”のタイトルと共に大型衛星を話題とした講演が行われた。



オープニングセッションでは、イタリアの衛星伝搬研究をリードしてきた Prof. Paraboni、ミラノ工科大学、が2011年4月に死去したことから、同大学のProf. Capsoni から、彼の業績等をたたえるスピーチが行われた。テクニカルセッションでは、Telecommunicationに関して Systems, System Studies, Antennas, ComponentsおよびGround Systems、Navigationに関して Applications と Systems、Earth Observation に関して Applications と Systems、Protocols Propagation & Fade Mitigation、COSMO SkyMedなど110件を超える講演が集まった。また Special SessionとしてUnmanned Systems and Communication IssuesやMarket and Insurance Perspectivesといった講演も続き、全体に盛況な会議であった。



BroadSky Workshopでは、震災復興に関する各国各機関のサポートへの感謝の言葉が述べられたオープニング講演につづき、WINDSに関するFirst Reportとして、これまでに成功した



WINDSを介した映像伝送等の各種実験の紹介とともに、震災への支援活動が紹介された。実際の活動を通じて得られた経験から、大規模災害時の初動という観点からより実用的なシステムを構築するための報告が行われた。また、ESAが開発を進めている大型衛星バスとして、2013年に打ち上げ予定の衛星 Alphasat と、搭載される機器類が紹介された。そのミッションの一つであるQ/V-bandの通信装置について、開発の経過と実験計画が示された。最後は、大型展開アンテナを有するSTICSについての現状およびこれまでの検討結果が示された。■